

学校教育目標

「 前 進 」 「 感 謝 」

Ⅰ ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

自立した社会人として生きていくために必要な資質・能力を育むとともに、社会に貢献しようとする態度を育成することにより、保護者や地域から信頼され、誇りに思われる学校となる。

＜めざす子供像＞

よ	・・・よく考え　くふうする子
こ	・・・こころ豊かで　助け合う子
は	・・・はつらつとして　元気な子
ま	・・・まじめで　進んでやりぬく子

Ⅱ ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

児　童：「喜んで登校・満足して下校、この学校でよかった」と思える　自慢できる学校
 保護者：「この学校に通わせてよかった」と思える　安心できる学校
 地　域：「共に地域の子供たちを育みたい」と思える　地域に根ざした学校
 教職員：「子供たちと一緒に成長できた」と思える　充実感のもてる学校

Ⅲ 現状分析

- ・基礎的な学力は定着しているが、学年間や学級内における学力差がある。「協働的な学び」と「個別最適な学び」を一体的に充実させ、「主体的な学び」の実現に向けた教育活動を行っていく必要がある。
- ・心のケアが必要な児童や不登校傾向のある児童が増えており、生徒指導上の問題も多い。生徒指導の三機能を生かした取組を学級や学年・縦割り班を活用して充実させ、人間関係を育んでいく必要がある。
- ・体育科の授業改善や外遊びの奨励により、運動が好きな児童が増えてきた。さらに体育科の授業改善を続けていきたい。また、自らの力で生活リズムをコントロールできるような力を付けさせたい。
- ・保護者や地域は学校教育に協力的である。ポストコロナにおける連携について考えていく必要がある。
- ・教職員の人材育成と組織力向上に向けた取組を継続させていきたい。同時に「働き方改革」に向けた具体的な取組を行っていく必要がある。

Ⅳ 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
【確かな学力】 基礎的な学力を身に付け、考えを表現することができる児童の育成	○「よこはま学習」の充実	・ICTを活用し、考えを広げ、深める授業づくり ・個に応じた指導の充実
【豊かな心】 他者とかかわり、つながり、行動することができる児童の育成	○共感的人間関係を育む場の設定や取組の充実	・児童主体の取組や異学年交流の充実
【健やかな体】 健康・安全な生活づくり、体力づくりができる児童の育成	○健康・安全への意識と体力の向上	・外遊びの奨励 ・体育科の授業の工夫
【信頼される学校】 保護者・地域とつながり、教職員がやりがいを感じる学校づくり	○地域・保護者との連携、協働体制の構築	・組織的な生徒指導体制と心に寄り添う教育相談体制の確立 ・業務の効率化